



戸田ヶ原 レポート

春爛漫の戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。今回は、4月に開催したサクラソウのお花見イベントや管理活動について、ご報告します。

『お弁当を持って戸田ヶ原へ行こう！ 2014イベント』

今年は4月1日にサクラソウの開花を確認し、4月19日と4月20日のイベント当日には、およそ900株が花を着けていました。また、トダスゲの花も同時に見ることができました。

イベントでは、戸田ヶ原クイズラリーを行ったほか、戸田ヶ原ガイドの方々が戸田ヶ原自然再生の取り組みを来場者に解説しました。また、戸田ヶ原自然再生キャラクター「とだみちゃん」、友情出演の「げんちゃん」と「かっぱのおじさん」も登場してイベントを盛り上げてくれました。2日間で600人を超える多くの方々と交流することができました。イベントに協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



盗掘被害への対応

残念なことに、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地のサクラソウやチョウジソウが盗掘の被害に遭いました。対応策として、市では看板を増設するとともに、蕨警察署や戸田市公園緑地公社の協力を得てパトロールを強化しました。また、監視カメラの設置など、今後のさらなる対応策を検討中です。

4月の保全管理作業

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、かつての戸田ヶ原の環境に近づけるよう、多くの市民の協力を得て保全管理を進めています。北アメリカ原産のセイタカアワダチソウなどの外来植物は、もともと戸田にいらしている在来植物の生育に影響を与えます。4月22日に、戸田ヶ原サポーターの方々と、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の園路沿いの外来植物の抜き取りを行いました。



戸田ヶ原ガイド

4月5日に「戸田ヶ原ガイド講習2014」を実施し、受講者の方々に「お弁当を持って戸田ヶ原へ行こう！2014イベント」で、戸田ヶ原やサクラソウなどの解説に協力いただきました。戸田ヶ原自然再生エリア第1号地に来場した方々の戸田ヶ原自然再生の取り組みへの関心や理解を深めることができました。



戸田ヶ原サポーター活動予定

5月13日(火)と6月24日(火)に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保善管理作業を予定しています。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などをお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

ノウルシ

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のノウルシを紹介します。

ノウルシは、トウダイグサ科の多年草で、茎を切ると乳液が出て、乳液を触るとかぶれることもあることから、ウルシ(漆)の名が付けました。3月下旬から4月に開花し、5月に結実して、6月には地上部が枯れてしまいます。夏から翌春まで、地下茎と根の状態です。湿った草はらに生えるノウルシは、かつての戸田ヶ原にもあったことが記録されています。現在は、全国的に絶滅のおそれがあるとされています。



ワレモコウ情報

3月から4月に芽を出したワレモコウは、少しずつ葉を広げています。日当たりの良い場所を好む植物ですので、鉢は日向に置いてください。水やりも忘れずをお願いします。



JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分

